

「埼玉県民にはそこらへんの草でも食わせておけ！」

地方デイスマンガ  
人気の火付け役！

このマンガがすごい！comics

## 62万部突破『翔んで埼玉』

## 二階堂ふみ、GACKT W主演 映画化決定！

ファッション雑誌販売部数トップシエア(※)の株式会社宝島社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:蓮見清一)が発行する書籍『このマンガがすごい！comics 翔んで埼玉』(2015年12月24日発売)が、このたび映画化され、2019年に公開されることが決定しました。

映画では、謎の転校生に恋心を頂く美少年・百美役を二階堂ふみさん、そしてその埼玉育ちの美少年転校生・麗役をGACKTさんが演じ、そのほかにも豪華キャストが出演します。

「翔んで埼玉」は、『パタリロ！』などの著者である魔夜峰央(まや・みねお)さんによる作品です。1982年から3回にわたり連載され、1986年に刊行された書籍『やおい君の日常的でない生活』に収録されており、当時、埼玉の所沢に住んでいた魔夜氏が描いた、“埼玉”を題材にしたギャグマンガです。

マンガレビューサイト『このマンガがすごい！WEB (http://konomanga.jp)』の選者の方々から、復刊を望む声を多数いただいたことから、約30年の時を経て2015年に『このマンガがすごい！comics 翔んで埼玉』として復刊しました。「埼玉から東京に行くには通行手形がいる！」「埼玉県民にはそこらへんの草でも食わせておけ！」「埼玉狩りだー！」といった埼玉をネタにした台詞などがTwitterを中心にWEB上で大きな話題を呼び、多数のテレビ番組などでも取り上げられました。

このような内容にもかかわらず、売り上げの3割を埼玉県が占め、上田清司埼玉県知事からは「悪名は無名に勝る」と激励コメントをいただき、地方デイスマンガの火付け役となり、現在62万部を突破しています。

宝島社では企業理念である「人と社会を楽しく元気に」のもと、今後もお客様に喜ばれる良質なコンテンツを企画・提供し、様々な業界の活性化に寄与していきたいと考えております。

※日本ABC協会 雑誌発行社レポート2017年上半期(1~6月)より

累計発行部数

62万部突破！



『このマンガがすごい！

comics

翔んで埼玉』

2015年12月24日 発売

定価:本体700円 + 税

## 『このマンガがすごい！comics 翔んで埼玉』

## 累計発行部数62万部突破！&amp;映画化までの道のり

- |          |   |
|----------|---|
| 1986年 8月 | 白泉社から刊行『やおい君の日常的でない生活』に収録   |
| 2015年 8月 | 『このマンガがすごい！』選者から続々と復刊を望む声上がり復刊が決定！  |
| 11月      | 日本テレビ系『月曜から夜ふかし』で紹介される<br>オンエア後の反響が大きく、当初の発行部数25000部が予約のみで完売                  |
| 12月      | 刷り部数を増やすため、発売日を5日延期し発売！初版部数を20万部に変更   |
| 2016年 1月 | 累計発行部数30万部突破！   |
| 3月       | 累計発行部数55万部突破！   |
| 5月       | 「新所沢パルコ」リニューアル記念として、作品がコラボレーション<br>魔夜氏もイベントに参加し、トーク&サイン会を実施。<br>横浜転居以来初の埼玉上陸！ |
| 6月       | 日経MJヒット商品番付「前頭」にランクイン   |
| 2017年 7月 | 累計発行部数62万部突破！   |
| 2018年 3月 | 映画化決定！<br>主演は、二階堂ふみさん・GACKTさん   |



# 著者・魔夜先生、豪華キャストからのコメントを紹介！

## 著者・魔夜峰央(まや・みねお)氏コメント



30年近く前の作品です。

当時私は埼玉県所沢市に在住しておりまして、抜けるような青い空と一面緑のネギ畑に囲まれて、牧歌的ながら、本当は東京へ行くはずだったのになあ……と思いつつ、なんとなく悶々としていました。良いところなんです所沢は。しかし、これから一旗揚げようかと野心満々の当時の私にとっては、のんびりしすぎていて、なんとなく物足りなかったのは事実です。(中略)

その頃、自虐的にそういった埼玉県民の心の声のある意味痛切に描いたのが、この『翔んで埼玉』です。

おもしろいかおもしろくないとかではなく、日々の鬱憤が爆発した心の声とでも言いましょうか。今見るとんでもない作品ですが、当時は素直な気持ちをそのままぶつけたのだと思います。それが、今になって、なぜ？まったくもって私自身が一番驚いているような状況なのです。今回はそれが、さらに映画化されるということで、ありがたいやら恐ろしいやら。「本当にいいんですか？」と、最後に言わせていただきます。

### ◆二階堂さんへ

最近テレビでお顔は拝見しておりました。なんだか面白いキャラの人だなあと、いい意味で、思っておりましたので今回の役はぴったりかもしれません。映画の中で思い切り遊んでいただけたらと思います。

### ◆GACKTさんへ

まさかオファーを受けていただけるとは思いませんでした。最初GACKTさんのお名前が上がった時、そこにいた一同全員がのけぞり次の瞬間、ありか、と頷いたものです。

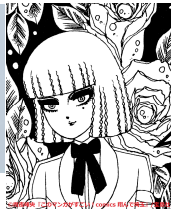
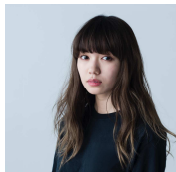
願ってもないキャスティングですが、この役がGACKTさんの人生の汚点にならないことを祈っております。

## 魔夜峰央(まや・みねお)プロフィール

1953年生まれ、新潟県出身。横浜在住。

1973年、『デラックスマーガレット』（集英社）でデビュー。1978年、『花とゆめ』（白泉社）にて代表作『バタロ！』の連載を開始。『バタロ西遊記！』などのスピンオフ作品を生む大ヒット作となる。1982年、フジテレビ系列で『バタロ！』がアニメーション化。現在、『花LaLa online』（白泉社）にて『バタロ！』を連載中。また、『まんがライフ』（竹書房）にて年に1回、『眠らないイヴ』を連載している。

## 百美(ももみ)役 二階堂ふみ(にかいどう・ふみ)氏 コメント



埼玉のプライドをかけた戦い、そしてそこから生まれる純愛ボーイズラブ。どのような作品になるのかは全く想像できませんが、精一杯真面目にふざけたらと思います！

## 二階堂ふみ(にかいどう・ふみ)プロフィール

1994年生まれ。沖縄県出身。

2009年『ガマの油』（役所広司監督）でスクリーンデビュー。2011年『ヒミズ』（園子温監督）でヴェネチア国際映画祭「マルチェロ・マストロヤニ賞（最優秀新人賞）」を受賞。雑誌の連載では文筆業やカメラマンとしても活動している。2018年の大河ドラマ「西郷どん」の愛加那役で出演予定。映画公開待機作に『いぬやしき』（2018年公開予定）がある。

## 麗(れい)役 GACKT(ガクト)氏 コメント



このオファーがあった時は、「設定に無理があるんじゃないかな？」とは思ったんですけども、ずっと以前から魔夜先生の作品のファンだったということから、先生からの指名ということであればやるしかない、という想いで、今回の作品は受けてしまいました(笑)。

正直なところ、「ボクの歳で高校生ってどうなのか？」という気持ちは未だに払拭できてはいないんですが、この漫画自体がかなり無理のある設定の漫画ですので、無理がもう一つぐらい増えても問題ないかなとは思っています。

(二階堂)ふみちゃんとは、こういう形で一緒に共演できるのは嬉しいと思ってます。

番組以来の久しぶりの再会なので楽しみです。ふみちゃんにとって最高の相手役、最高のキャラクターで撮影に入れるように作り込んでいきたいと思っています。

## GACKT(ガクト)プロフィール

1973年生まれ。沖縄県出身。

世界中で伝説として語り継がれるバンド「MALICE MIZER」のヴォーカリストとしてデビュー。

99年に「GACKT」名義でソロアーティストになり、これまでにCDシングル48枚とアルバム19枚をリリース。男性ソロアーティストでの、シングルTOP10獲得数は、現在も歴代1位を保持している。音楽以外にも、俳優としてハリウッド映画、日本映画、TVドラマに出演し、声優では、ハリウッド映画の吹き替え、アニメ、ゲームに出演。